

『経済経営研究』創刊に寄せて

首都大学東京 大学院経営学研究科
研究科長 田中 敬一

2018年4月に本学の組織が再編され、従来の社会科学研究科経営学専攻は経営学研究科経営学専攻として一研究科一専攻に分離独立しました。学部では、都市教養学部経営学系は経済経営学部に変更されました。これらの再編により、経営学研究科は経営学および経済学の分野において高度な教育研究の一躍を担う組織であることをより明示的に内外に示すこととなりました。これを機会に、従来の学術誌『経営と制度』を『経済経営研究』に改め、本日、その創刊を迎えます。

前身である『経営と制度』は、2004年当時の東京都立大学ビジネススクール開設・運営に携わった教員とその学生らから成る東京都立大学大学院ビジネススクール学術講演会によって2004年2月にその創刊号が発刊されました。以来16号を発刊し、主に経営学・経済学の分野の論文等65本（論文：41、研究ノート：19、事例研究：2、資料紹介：1、翻訳：1、解説：1）と12回のビジネススクール修士論文要約が掲載されました。教員による執筆論文の他、新進気鋭の大学院生の論文を掲載するなど、学術研究の発信の場であるとともに博士号学位取得のための教育プロセスの一部として貢献してきました。

経営学および経済学は、個々の人間の行動とその結果としての社会現象を富（経済的な豊かさ）の観点から科学的に分析する学問であります。教育機関もしくは研究機関としての大学には、現代社会の諸問題に取り組むために必要な、実務的あるいは普遍的な考え方やエビデンスをタイムリーに提供することが社会から期待されています。その一方で、様々な研究活動を通して、将来に向けて人類の叡智を蓄積することは分野に関わらず学問として重要です。これら2つの責務は、自然科学や工学と異なり、社会科学では表裏一体の関係であるため、その両立はさほど困難ではありません。

この15年の間には経済を取り巻く状況は大きく変動しました。市場では政治局面や東日本大震災と相まってドル円為替レートは、一時は75円台(2011年)、日経平均株価はリーマンショックにより6994.90円(2008年)などの安値を経験しました。マクロな経済政策面では、日本銀行の低金利・量的緩和政策は1990年代初頭から維持されており、マイナス金利が現実として表面化しています。現在はいざなぎ景気を越える景気拡大局面ではありますが、企業業績は人件費抑制や海外投資に依存しており、国内投資や賃金上昇が少ないため、一般消費者には実感のない好景気と認識されています。

企業経営の面では、幾多の商法改正と2006年会社法施行等を通して企業情報の開示を含むコーポレートガバナンスが大幅に強化されました。2015年に金融庁および東京証券

取引所が取り纏めた「コーポレートガバナンスコード」の適用が開始され、株主の権利の確保、企業による利害関係者との適切な協働、適切な情報開示と透明性の確保などが求められ、企業統治の指針のひとつとなりました。また、少子高齢化による労働力不足の解消、正規社員と非正規社員の格差是正、などを狙った「働き方改革」により、今後多くの企業等で勤務形態や賃金体系などが見直しされていくでしょう。高度成長期を中心に長く行われていた日本の経営（株式持ち合い・メインバンク制、終身雇用・年功序列、官僚統制等による競争排他的市場、緩い企業会計原則）は終焉を迎えました。その一方で、情報技術・人工知能（機械学習）・インターネットの発展およびビッグデータの活用により、企業規模に関わりなく商品開発や新たなサービス・ビジネスを展開できる、という起業マインドに満ちた環境が醸成されつつあります。

このように社会情勢は刻々と変化していますが、社会の普遍的な基盤として、人々の間の信用や組織への信頼が重要であることに変わりはありません。例えば、価値が安定し利便性の高い電子マネーは大きく普及した一方で、支払手段として機能せず、社会的信用に乏しくむしろ投機性が強い仮想通貨が貨幣の役割を果たす可能性は低いでしょう。また、増加の一途を辿る国債発行残高と労働力減少を目の当たりにするなか、財政や年金制度の将来が危ぶまれているにも関わらず、円の価値が安定し低金利を維持できるのは、日本国民（特に将来世代）が日本政府の最大の債権者であることが一因と考えられます。

私達社会科学分野の研究者に課せられた使命としては、社会情勢の変化に対応しつつ未来に向けての政策や制度の改善を検討する際の一定の指針となる理論研究、人・組織・市場の行動・活動に関する規制やインセンティブ付与など行動原理の研究、また、データや実務に基づいた実証研究などが挙げられます。その使命に向けて、この『経済経営研究』が高度な水準の議論の場となり、また、若い研究者の鍛錬の場となることを期待してやみません。